

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画 (旧カリ)

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
健康と運動	1	15	3年生 前期	小谷 克彦(北海道教育大学旭川校:准教授)		
科目のねらい	現代生活における健康と運動の意義を考えるために、運動と身体の関係、特に運動時における体験の理解を深める。そして、体験を理解することから、疾病予防や健康の保持・増進に役立つ手がかりを得る。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
	1 健康スポーツの概略(スポーツにおける物語) 2 スポーツと不安 3 スポーツとスランプ 4 運動・スポーツにおける動機づけ 5 スポーツと人格形成 6 スポーツと健康(怪我)			14	講義	小谷
評 価 方 法	1 出席点 2 筆記試験(100点)					
使 用 テ キ ス ト	配付資料					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画 (旧カリ)

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
看護と法規	1	15	3年生 前期・後期	本田 真子 (専任教員:保健師) 升田 由美子(旭川医科大学医学部看護学科:教授)		
科目のねらい	1 法規の構成と衛生法規の概要について学ぶ。 2 保健師助産師看護師法を学び、看護職の法的責任と役割を学ぶ。 3 看護職に関係の深い法規の変遷と概要を学ぶ。 4 医療事故事例から、看護職の法的責任と役割について考える。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 法規の概念	(1)法の構成 (2)衛生法規の分類と変遷 (3)厚生行政のしくみ			10	講義	本田
2 看護専門職者と保健師助産師看護師法	(1)保健師助産師看護師法の概要 保助看法の構造 保助看法の特色(目的・免許・業務) (2)看護の専門性と法的責任 生活の援助業務における責任 医療行為・医師の指示と責任 (3)看護業務における責任 看護業務における責任負担者 チーム医療における責任の分担 在宅業務における責任					
3 看護関係法規	(1)医療法 (2)看護師等の人材確保に関する法律 (3)看護職の教育に関する法律 (4)看護職に関連する職種の法律					
3 看護関係法規	(1)医療法 (2)看護師等の人材確保に関する法律 (3)看護職の教育に関する法律 (4)看護職に関連する職種の法律					
4 医療事故	(1)医療事故訴訟の類型 (2)医療事故の法的構成 (3)看護職の医療事故裁判の傾向・判例 (4)医療事故の防止			4	講義	升田
評 価 方 法	筆記試験80点(本田講師)+レポート試験20点(升田講師)/ 100					
使 用 テ キ ス ト	系統看護学講座『看護関係法令』医学書院 看護行政研究会編集:看護六法 令和5年版、新日本法規					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（旧カリ）

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
母性看護学援助論Ⅲ	1	30	3年生 前期	金井 麻子(旭川医科大学病院産婦人科学講座:医師) 吉澤明希子(旭川医科大学病院産婦人科学講座:医師) 中西研太郎(旭川医科大学病院産婦人科学講座:医師) 高橋 知昭(旭川医科大学病院産婦人科学講座:医師) 水無瀬 萌(旭川医科大学病院産婦人科学講座:医師) 高橋 由香利(専任教員:助産師)		
科目のねらい	周産期の異常と女性生殖器疾患について理解する。 事例を通して妊娠期、産褥期にある対象の看護を理解する。					
目 標	1 妊娠・分娩・産褥期の異常の診断と治療を理解する。 2 女性生殖器疾患の診断と治療を理解する。 3 看護過程の展開をとおして産褥期の看護を理解する。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 周産期の異常	1 妊娠期の異常の診断と治療 (1)ハイリスク妊娠、妊娠中に起こりやすい異常 (2)妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、妊娠による出血(流早産、前置胎盤)など (3)出生前診断			4	講義	吉澤 中西
	2 分娩期の異常の診断と治療 (1)分娩期に起こりうる異常 (2)産道、娩出力、胎児およびその付属物の異常 (3)産科手術(帝王切開術) (4)異常出血			2	講義	金井
	3 産褥期の異常の診断と治療 ・産褥期に起こりやすい異常 (子宮復古不全、産褥感染症など)			2	講義	吉澤
2 女性生殖器疾患	1 主な女性生殖器疾患の症状・診断・治療について (1)主な疾患と分類 (2)診断のための主な検査 (3)主な症状と病態生理 (卵巣癌、子宮癌、子宮筋腫、子宮内膜症など)			4	講義	高橋
	2 不妊症治療と課題			2	講義	水無瀬
3 看護過程の展開	1 産褥早期の正常経過をたどる褥婦の看護過程の展開			15	講義 演習	高橋
	2 指導技術 ・沐浴指導、退院指導他					
評 価 方 法	授業への参加状況及び演習課題(40点) 筆記試験(周産期の異常40点 女性生殖器疾患20点)					
使 用 テ キ ス ト	単元1:系統看護学講座『母性看護学各論』医学書院 単元2:1-1:系統看護学講座 成人看護学[9]『女性生殖器』医学書院 1-2:系統看護学講座『母性看護学各論』医学書院 単元3:系統看護学講座 専門Ⅱ『母性看護学各論』医学書院 『ウエルネスからみた母性看護過程＋病態関連図』医学書院					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画 (旧カリ)

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
<b>在宅看護援助論Ⅱ</b>	1	15	3年生 前期	藤木 みさお (専任教員:看護師) 松田 哲子(旭川赤十字病院:副看護部長)		
科目のねらい	在宅療養者が抱える健康障害に応じた看護の特徴について理解し、在宅で療養あるいは安らかな死を迎える対象への看護について学ぶ。					
目 標	1 在宅療養者が抱える主な健康障害と対象への看護について理解できる。 2 在宅ターミナルケアの条件と要点を理解する。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 在宅療養者とその 家族の生活と看護	1 在宅療養者と家族が抱える療養生活上の課題と看護 (1) 脳血管疾患を患う療養者と家族への看護 (2) 難病を患う療養者と家族への看護 (3) 認知症を患う療養者と家族への看護 (4) 精神疾患を有する療養者と家族への看護 (5) 在宅療養児と家族への看護			8	講義	藤木
2 在宅看護における 終末期ケア	1 終末期にある療養者と家族の看護 (1) 在宅における看取りの看護と看護職に求められる能力 (2) 在宅における看取りの看護の実際 (3) チーム医療・チームケアと連携 (4) 家族支援とグリーフケア			6	講義	松田
評 価 方 法	筆記試験(100点)					
使 用 テ キ ス ト	ナーシング・グラフィカ 地域医療を支えるケア 在宅看護論 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 地域医療を支える技術 在宅看護論 メディカ出版					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（旧カリ）

科目名	単位数	時間	開講時期	担当講師		
在宅看護援助論Ⅲ	1	15	3年生前期	藤木 みさお（専任教員:看護師）		
科目のねらい	在宅療養者と家族のQOLを維持向上するために、在宅ケアチームと連携をとりながら実施する看護過程の展開方法を学ぶ。					
目 標	在宅で生活する療養者とその家族のQOL維持・向上をはかるための、看護過程の展開ができる。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 在宅看護過程の展開	1 パーキンソン病を患う療養者と家族の在宅療養生活を支える訪問看護過程 (1) 訪問看護実践に必要な記録類 (2) ケアプランと訪問看護計画 (3) 生活する療養者と家族のアセスメント視点 (4) 療養生活上の課題とニーズ (5) 訪問援助計画の立案 (6) 訪問看護の実施 (7) 訪問看護の評価 (8) 訪問援助計画の修正			15	講義 演習	藤木
評 価 方 法	看護過程展開と講義、GWへの取り組み状況、及び出席状況を総合して評価する(100点)					
使 用 テ キ ス ト	ナーシング・グラフィカ 地域医療を支えるケア 在宅看護論 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 地域医療を支える技術 在宅看護論 メディカ出版					
備 考	～演習～ ◇各自で看護過程を展開し最終提出をする。 ◇講義では、グループを編成しアセスメント、計画、評価について意見交換することで各自の看護過程の理解を深める。					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（旧カリ）

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
看護の統合と実践Ⅲ	1	30	3年生 前期・後期	三浦 環（専任教員:看護師） 上村 馨子（専任教員:看護師） 高橋由香利(専任教員:助産師)		
科目のねらい	看護実践能力を高めるために、これまでに学んできた知識や技術を統合し、対象の状態に応じた安全で安楽な看護を提供する能力を養う。					
目 標	1 ハイリスク状況下での医療安全を考えることができる。 2 複数患者の看護を実践するためのスケジュール管理ができる。 3 多重課題の状況において、対象の安全・安楽を考慮し援助の優先順位を決定できる。 4 多重課題の状況において、知識・技術・態度を統合し、対象に適切な方法で安全・安楽な看護が実践できる。 5 自分の看護を評価して自己課題を明らかにできる。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 看護の安全性	事件事例分析を通し、事故の背後要因や対策について考える			10	講義 演習	上村
2 複数患者受け持ち 状況下での看護	1 オリエンテーション 2 複数患者への看護の実践・評価 1) 対象理解と必要な援助 2) 優先順位を考慮した行動計画の立案と調整 3) 看護の実施、割り込み状況への対応 4) 報告 3 紙上事例を用いて複数患者への看護実践を考える。 4 模擬患者への看護実践 5 リフレクション			16	講義 演習	三浦 上村 高橋
				2	演習	三浦 上村 高橋
評 価 方 法	単元1:出席状況とグループワークへの参加態度(20点) 単元2:出席状況とグループワークへの参加態度・提出物(50点) 技術演習・リフレクション(30点)					
使 用 テ キ ス ト	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践2『医療安全』メディカ出版 系統看護学講座 専門 看護の統合と実践1 『看護管理』医学書院					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（旧カリ）

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
看護の統合と実践Ⅱ	1	30	3年生 前期・後期	原口 真紀子（旭川医科大学病院：看護部長） 井戸川みどり（旭川医科大学病院：副看護部長） 佐藤 こずえ（旭川医科大学病院：副看護部長） 植山さゆり（旭川医科大学病院：看護師長） 岩城 静香（旭川医科大学病院：副看護師長） 村住 英也（旭川赤十字病院：看護係長） 本田 真子（専任教員：保健師）		
科目のねらい	1 質の高い看護の提供と看護の効率性に必要な看護マネジメントの基礎的知識を学ぶ。 2 国際社会における保健医療の実情を知るとともに、国際看護の必要性と国際協力のしくみについて学ぶ。					
目 標	1 看護マネジメントに必要な知識・技術を理解する。 2 よりよいケアを行っていくためのケアマネジメントについて理解する。 3 看護サービスのマネジメントについて理解する。 4 診療報酬と看護ケアの対価との関連性を理解する。 5 看護における国際協力の必要性としくみを学ぶ。 6 文化の違いを考慮した看護の必要性がわかる。 7 国際看護活動の実際を知る。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 組織原則とマネジメントの基本	1 マネジメントとは 2 マネジメントの必要性 3 マネジメントのプロセス 4 組織原則と組織員としての基本 1) 組織とは 2) 責任と権限 3) チームマネジメント (1) リーダーシップ・メンバーシップ (2) リーダーシップとマネジメント 4) 組織と個人 (1) 意思決定と問題解決 (2) ストレスマネジメント (3) タイムマネジメント (4) 看護職自身の健康管理			5	講義	本田
2 看護ケアとマネジメント	1 看護ケアのマネジメント 1) 看護ケアマネジメントと看護職の機能 2) 患者の権利の尊重 3) 安全管理 4) チーム医療 5) 看護業務の実践 (1) 看護提供体制			4	講義	本田
3 看護サービスのマネジメント	1 組織としての看護サービスマネジメント 2 看護サービス提供のシステムづくり 3 施設・設備環境のマネジメント 4 組織におけるリスクマネジメント 5 物品のマネジメント			6	講義	原口
	6 情報のマネジメント			2	講義	佐藤
	7 人材のマネジメント(キャリア形成を含む)			2	講義	井戸川
	1 サービスの評価 1) 医療におけるサービスの質の評価 2) わが国における医療機能の評価 2 医療保険制度と医療費支払いシステム 3 看護ケアの対価			2	講義	佐藤

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画

<p>4 看護の国際化と国際協力</p>	<p>1 看護とグローバル化                  2 国際看護の概念                  1) 国際看護とは                  2) 国際看護師協会(ICN)                  3) グローバル化と国際保健                  3 国際協力機関のとりくみ                  1) 国際協力とは                  2) 保健医療協力を携わる国際機関                  国際連合(国連)機関                  ① 世界保健機関(WHO)                  プライマリーヘルスケアと看護の役割                  ② 国連開発計画(UNDP) ミレニアム開発目標                  ③ ユニセフ                  3) 国際救援に携わる政府機関                  政府開発援助(ODA)と国際協力機構(JICA)                  4) 国際赤十字                  5) 国際NGO                  4 国際看護と異文化看護                  在日外国人等、異文化を背景にもつ人々への看護                  5 国際看護が必要とされる世界の現状                  1) 先進国における看護の現状と課題                  2) 開発途上国における看護の現状と課題                  6 国際看護活動の実際</p>	<p>4</p>	<p>演習</p>	<p>植山</p>
<p>評価方法</p>	<p>筆記試験                  看護マネジメント80点(単元1～3)                  看護の国際化と国際協力20点(看護活動の実際を除く)/ 100点</p>			
<p>使用テキスト</p>	<p>系統看護学講座 専門 看護の統合と実践1 『看護管理』 医学書院                  系統看護学講座 専門 看護の統合と実践3 『災害看護学・国際看護学』 医学書院</p>			



添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（旧カリ）

科 目 名	単位数	時 間	開講時期	担 当 講 師		
老年看護学援助論Ⅲ	1	15	3年生 前期	水野 弥美（専任教員:看護師）		
科目のねらい	高齢者の特徴を踏まえ、生活機能の観点から生活の再構築が必要な対象の看護過程が展開できる。					
目 標	生活の再構築が必要な高齢者の看護過程が展開できる。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 生活の再構築が必要な高齢者の看護	1 生活の再構築が必要な高齢者の看護 ・高齢者に多い疾患の事例を用いて看護過程を展開する。			15	講義 演習	水野
評 価 方 法	看護過程提出および出席状況 /100点					
使 用 テ キ ス ト	『老年看護学』医学書院 『老年看護 病態・疾病論』医学書院 『根拠と事故防止からみた老年看護技術』医学書院					

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画 (旧カリ)

科目名	単位数	時間	開講時期	担当講師		
看護研究	1	30	3年生 前期・後期	高橋 由香利(専任教員:看護師) 廣岡 憲造(旭川市立大学:准教授)		
科目のねらい	看護実践と関連する先行研究や文献を検討し、看護の効果を科学的・批判的に考えていくための方法を学ぶ。また、研究計画書の作成をとおして研究の意義がわかる。					
目 標	1 看護における研究の意義と目的を理解する。 2 看護研究における倫理的配慮について学ぶ。 3 看護研究のプロセスと方法について理解する。 4 文献の探し方・検討の仕方を理解する。 5 研究を伝える方法を理解する。 6 調査研究の方法について理解する。 7 実践をとおして、看護研究を進めるにあたり必要な研究計画書(研究テーマの決定、文献検討、研究方法の選択)の作成過程を理解する。					
単 元 名	教 育 内 容			時間数	方 法	担当講師
1 看護研究の基礎	1 研究とは何か 2 看護における研究の意義 3 看護研究の目的と分野 4 看護研究の動向 5 看護研究における倫理的配慮 6 研究の種類と特徴 7 研究デザイン 8 研究のプロセス (1)リサーチ・クエスション (2)文献検索と文献検討 (3)研究目的の明確化 (4)研究デザインの選択 (5)データの収集 (6)データの分析 (7)研究計画書の作成 (8)研究の実施 (9)論文の作成 (10)研究結果の公表 9 文献検索の意義 10 文献の種類と活用方法 11 文献検索の方法 12 文献クリティークの視点とクリティークの実際			12	講義	高橋
	調査研究の方法 1 調査票の作成 2 データ処理 3 調査研究論文の論評			8	講義 演習	廣岡
2 看護研究の実際	1 研究計画書の作成 (1)リサーチ・クエスションの明確化 (2)文献検索と文献検討 (3)研究目的の明確化 (4)研究デザインの選択 (5)倫理的配慮 (6)研究計画書の発表			9	演習	高橋
評 価 方 法	単元1:筆記試験・提出物(40点) 単元2:研究計画書の作成内容及び取組姿勢、発表態度(60点)					
使 用 テ キ ス ト	系統看護学講座『看護研究』医学書院 足立はるゑ:『看護研究サポートブック 改訂4版』メディカ出版					